

学習の手引き

1年生

教科	観点の内容	
知識 技能	知識 技能	<p>正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と活用などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 各テスト（小テスト、単元テスト、定期考査）、ノート、ワークシートへの記載事項、授業での発言の内容 など</p>
思考力 判断力 表現力	思考力 判断力 表現力	<p>観点の内容 拡張された数の性質等について考察したり、文字を用いて数量の関係等を考察したりする力、図形の構成要素などに着目し、性質や関係を捉え論理的に考察する力、数量の変化等に着目して関数関係を見出し、特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、傾向を読み取り、考察したりする力を身に付けている。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 各テスト（小テスト、単元テスト、定期考査）、ノート、ワークシートへの記載事項、話し合いの内容、授業での発言の内容 など</p>
数学 主体的に学 習に取り組 む態度	主体的に学 習に取り組 む態度	<p>観点の内容 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。</p>
		<p>おもな評価の項目（予定） 振り返りやレポートの内容、ノートの内容、課題への取組状況、小テスト 授業での発言の内容 など</p>
<p>学習の進め方のヒント</p> <p>①章や単元の学習ごとに、「振り返りシート」や「レポート」を活用して自分の学習を見通したり、学習後の振り返りを大切に、学習したことが身の回りにある数学的な事象に活かせるか考える視点を大切にしましょう。（主に「主体的に学習に取り組む態度」）</p> <p>②各単元ごと・問題の形ごとに演習を重ねましょう。数学的な用語について、その意味を説明できるようにしましょう。問題集を活用して反復学習をし、単元の定着を自分で確認しましょう。（主に「知識・技能」）</p> <p>③数学的活動を通して、基礎的な知識や技能を活用しながら、各事象を論理的に表現することができるように、他の人の意見も参考に、自ら考え、表現する練習をしましょう。（主に「思考・判断・表現」）</p> <p>④授業内容や配布されたプリントなどを家庭でノートにまとめながら、毎授業の復習を大切にしましょう。</p> <p>⑤授業ではペアワークやグループワーク、発表などを行います。自分の意見を相手に伝えるとともに、他の人の意見をしっかり受け止めることを心がけましょう。</p> <p>⑥数学は日々の学習の積み重ねが大切です。問題集やドリルソフトを活用して、家庭でも積極的に復習しましょう。</p>		